

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和54年6月18日

第11報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	540	○	
(藍) <i>Oscillatoria</i> sp.*	220		○
(藍) <i>Raphidiopsis</i> sp.*	40		
(珪) <i>Synedra rumpens</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	80		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	100		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	◎	
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	120		◎
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	40		
(藍) 藍藻綱	760	39.6	41.0
(黄) 黄緑藻綱	40	2.1	0.8
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	220	11.5	0.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	4.2	1.8
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	820	42.7	55.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1920	総体積	7.64E+06
種類数	11	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
藍藻綱	<i>Aphanothece clathrata*</i>	540

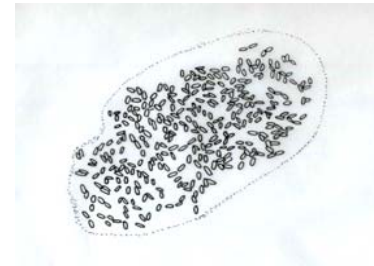
### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ビフクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビフクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Aphanothece clathrata\****  
(アフアナテーケ)  
藍藻綱

細胞は、長楕円形で長さ3.5~4.5 $\mu\text{m}$ 、幅0.6~0.2 $\mu\text{m}$ 。非常に多数の細胞が寒天質の中に集まり、群体を作る。群体はいろいろな形がある。琵琶湖では北湖で夏秋に多く見られる。